

元気な草加 優しい越谷

# NEWS LETTER

衆議院議員・弁護士

# 細川律夫



細川律夫国会事務所 TEL 03-3508-7513 FAX 03-3593-7148

細川律夫後援会本部 TEL 048-966-5115 FAX 048-965-8818

E-mail : [g04091@shugiin.go.jp](mailto:g04091@shugiin.go.jp) ホームページ : <http://minshu.org/hosokawa/>

2006年1月1日 No.111



## 明けましておめでとうございます

衆議院議員 細川律夫

### 民主党の再生に努力します

旧年中は大変お世話になりました。特に9月に行われました衆議院総選挙では、民主党大苦戦のなか、お陰様で何とか比例区での当選を果たすことができました。政策の面、組織の面、選挙戦術の面など、この選挙での反省を糧に、国民の皆様から、「政権を任せても安心だ」と思っていただける党づくりに向け、努力いたします。本年も、ご理解・ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

また、10月に行われた越谷市長選では、私が支持いたしました板川市長が3期目の当選を果たしました。併せて御礼申し上げます。



衆議院総選挙の際、新越谷駅頭にて 左から、高橋県議、板川市長、細川候補者、菅元代表

### 予算委筆頭理事として

国会が始まると論戦の表舞台は予算委員会になります。私は、前の特別国会から再度予算の野党筆頭理事として委員会の運営にあたっていますが、ここで小泉内閣を徹底的に批判し、民主党の正しさをアピールすることが私に課せられた仕事です。

また、民主党に対する様々な批判も聞いています。もし、党役員が、長年積み上げてきた民主党の政策に反する発言を繰り返すなら、私もはっきりとものを言うつもりです。

### 鉄道事故や偽装事件を再発させるな

昨年は、愛・地球博の成功、宮様のご成婚といった明るいニュースもありましたが、4月のJR福知山線の事故、11月明らかになった耐震強度偽装事件、年末に起こったJR羽越線の事故、あるいは特に小学生が犠牲となったいくつかの殺人事件など、暗い話題が相次ぎ、なにか世の中全体の倫理と言いましょうか、規範意識のようなものが減衰しているような印象を受けました。

特に尼崎で起こった鉄道事故は、安全よりスピードを重視したと言われてもしょうがないもので、運転士個人の問題では済まされない構造的な問題を提起しました。私も国会のなかで、事故調査のあり方などの検討を進めているところです。また、耐震強度偽装事件は、今まで暗黙のもとで信用していた専門家までも職業倫理を失っていたことに

驚きました。まずは、建築確認という公的作業をどうやってきちんとやっていくのか、が焦点になりますが、同時に政治家と企業の癒着についても十分監視し、実態を明らかにしなければなりません。

また、犯罪の問題も深刻です。検挙件数は少し上昇したとは言っても犯罪は高止まりのまま。とりわけ、幼児や学童に対する凶悪犯罪が目立っています。警察官の増員や刑務所の拡張も必要でしょうが、もっとも大切なことは犯罪そのものの抑止です。教育の充実や地域力の向上などが欠かせません。

## 人口減少到来と国民負担増

少子高齢化が進むなか、大方の予想より早く、昨年から人口減少の社会に突入しました。そんななか、平成18年度予算は負担増ばかりが目立ちます。定率減税の廃止、医療費負担の増大など、多くは一般大衆への負担が増します。景気は回復の途上にあると言われるものの、いわゆる勝ち組と負け組の差は激しく、所得格差が拡大するなかでの大衆増税であるため、格差はますます広がります。民主党は、このような小泉内閣のやり方に対し反対し、公共事業を軸とした歳出の削減によって財政の健全化をはかり、さらに予算の使い方を透明化することが必要であると訴えています。人口減少が本格化する前に、財政の健全化と安定的な社会保障を達成するためには、経済の活性化と切り切った歳出削減が何よりも大切です。



予算委視察、チュニジアの幼稚園にて

## 小泉外交は閉塞状況

大量破壊兵器の不在など、イラク戦争開戦の正当性が否定されても、小泉首相はなおブッシュ大統領を擁護し、大国では米英以外日本だけが派兵を続けています。小泉首相はアジアでも孤立を続け、中韓に対しても靖国参拝の弁護をするのみで

関係の悪化が続いています。北朝鮮に対しても、毅然たる態度で拉致などの問題解決を図っているようには思えません。

靖国参拝については、国内問題でもあり、私はかねてから諸外国の元首が参拝できるような追悼施設が必要であると考えています。いくら言い訳を言ったところで、総理が、開戦時の首相を合祀している神社を参拝するのは筋がとおりません。

## 草加・越谷の発展を

雇用 越谷市には昨年春、ハローワークと市の産業雇用支援センターがオープンし、産業雇用政策の拠点になっています。

道路網 草加・越谷を通る東埼玉道路は昨年3月、吉川市側まで開通。今後の課題は北への延伸です。八潮・越谷線（産業道路）の全面開通については、国・県に早期着工を働きかけています。

治水 時間当たり降水量は増加の傾向であり、今後も注意を怠らず事業を進める必要があります。この点でも、国、県、市の連携が必要です。

鉄軌道 昨年、つくばエクスプレス（秋葉原～八潮～つくば）が開業され、順調に客足を伸ばしています。東埼玉道路沿いに建設が予定されている地下鉄8号線が今後の課題です。越谷レイクタウン新駅は確実に開業に向け準備が進んでいます。草加の南西部に接する足立区舎人と日暮里を結ぶ新交通システムの「舎人新線」（仮称）は平成19年度（20年3月まで）には開通する予定です。

まちづくり 越谷レイクタウン事業や今様草加宿など、国の支援を受けた事業も順調に進展しています。県や市の事業についても、行政や各議員と連携を取りながら関わっています。

ご相談を

国の仕事だけでなく、行政に関するご相談・苦情などがございましたら、遠慮なく私の事務所にお問い合わせください。

